

令和元年度 児童発達支援自己評価表

項目	質問内容	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		個別では3組同時に実施するため、課題の内容によって支援を行う場所を変えるなどの工夫をしている
	② 職員の配備は適切であるか	○		定員10名に対して、通常よりも多い4名の指導員を配置している
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		待合室と授業を行う部屋を明確に分けている。教室内は大きな段差がない構造となっている
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		掃除は毎朝行っている。掲示物などの活動で使用するものは、必要に応じて使用する時のみに貼るなど、集中しやすい環境になるよう心掛けている
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々のミーティングや、月1回の会議で業務改善に取り組んでいる。参加できなかつた職員がいた場合には、後日報告書を確認するなどのルールを決めている
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		事業所の評価を年2回行い、いただいた意見は今後に反映できるようにしている
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ等で公表している
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		当事業所は第三者評価は未実施。今後検討していく
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		専門職による事業所内研修や、虐待防止に関する研修を行っている
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		体験時から児童の動きに着目し、できるだけ詳細なアセスメントに努めている。加えて、保護者のニーズや課題とする点を聞き、総合して客観的な視点から支援計画を作成している
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		現在、作成中で試行段階です。新年度より活用開始予定
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインに示される項目の視点を持ち、保護者からのニーズも取り入れ、教室内でケース会議をしたうえで支援内容を決定している
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画をもとに、利用回ごとに目標を定め授業をすすめている
適切な支援の提供	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担当職員が立案したものをトレーニング前に他の職員と共有し、より児童にあった内容になるよう協議し決定している
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子ども達が毎回楽しんで取り組めるよう、子どもの成長や特性に合わせて活動を設定している
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		特性や年齢、進級などを見据えて、必要に応じて内容を組み合わせている
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		複数人の職員が一緒に支援に入る際は、必ず打ち合わせを行っている
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援日誌入力の際に、気になったことや気付いた点を共有している
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援終了後には必ず日誌を入力し、今後の支援につなげている
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3ヶ月毎に支援計画の見直しを行い、子どもの成長や保護者のニーズに合わせて変更の有無を判断している
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		モニタリングや関係機関連携などは、支援を担当している職員が対応している
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保護者からの要望があれば連携を行う
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの要望を受けた際には、関係機関連携として面訪問などを行っている
係機関や保護者との連絡	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの要望を受けた際には、情報提供書を作成している
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部の研修に参加している
	㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		曜日と時間固定で支援をしている為、大きな集団施設との交流は難しい。また、幼稚園・保育園に通いながら当事業所を利用しているお子さまが多い為、保護者からの要望があった際には交流の機会を検討をする
	㉗ 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		柏市の子ども部会に参加している
	㉘ 白旗から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援後に保護者向けの振り返りを必ず行っている為、共通理解が支援できる環境
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレンット・トレーニング等)の支援を行っているか	○		振り返りの中で保護者支援を行っている
	㉚ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に契約書と重要事項説明書の説明を行っている
	㉛ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援計画の更新日前に保護者に内容を説明し、同意を得ている
	㉜ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		支援後の保護者向けの振り返りや面談で行っている
保護者への説明責任等	㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者同士の連携ができる場の設定はしていない。多數の保護者から要望があった際には検討する
	㉞ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見やご要望をいただいた際は、全職員で話し合って今後の対応を決定している
	㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的な会報の発行などはないが、行事予定やお知らせがある時には、手紙を配布している
	㉟ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報が記載されている書類やPCは、鍵付きの書庫に保管している
	㉞ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個性や特性に合わせた伝え方を行っている
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域住民から要望があった場合は検討する
	㉟ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		火事や地震を想定した避難訓練は行っている。今後は不審者侵入時の訓練などを実施し、保護者への周知を図る
	㉟ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回避難訓練を行っている
非常時等の対応	㉟ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことの状況を確認しているか	○		初回のアセスメント時に必ず確認をしている
	㉟ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		食事の提供はないが、事業所内ではアレルギー対策として食べることをご遠慮いただいている
	㉟ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットやアクシデントがあった際は書類を作成し、全職員が確認をして共有をしている
	㉟ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社外の虐待防止研修に参加をし、事業所内でも研修を行っている
	㉟ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		対象児は、ケース会議を開いて身体拘束についての書類を作成。保護者には書類を見ながら説明して同意をいただき、支援計画にも記載をしている